

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年 5月 26日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
東京都中央区日本橋室町4-1-6 クアトロ室町
氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
三光株式会社 代表取締役社長 高木 義幸
(代理人)滋賀工場長 森 高章

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
[事業者行動計画を 策定 (変更)]
[事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	三光株式会社 代表取締役社長 高木 義幸
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋室町4-1-6 クアトロ室町

1 事業者の概要

事業所の名称	三光株式会社 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県守山市下之郷1丁目14番10号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	3	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 その他の有機化学工業製品製造業
事業の概要	感圧紙用顔色剤の製造業					
従業員の数	33	人	操業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	5	台	熱源設備	6	台
	照明設備	90	台	コンプレッサ	3	台
			空気調和設備	20	台	その他

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2022	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了年度	2026	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

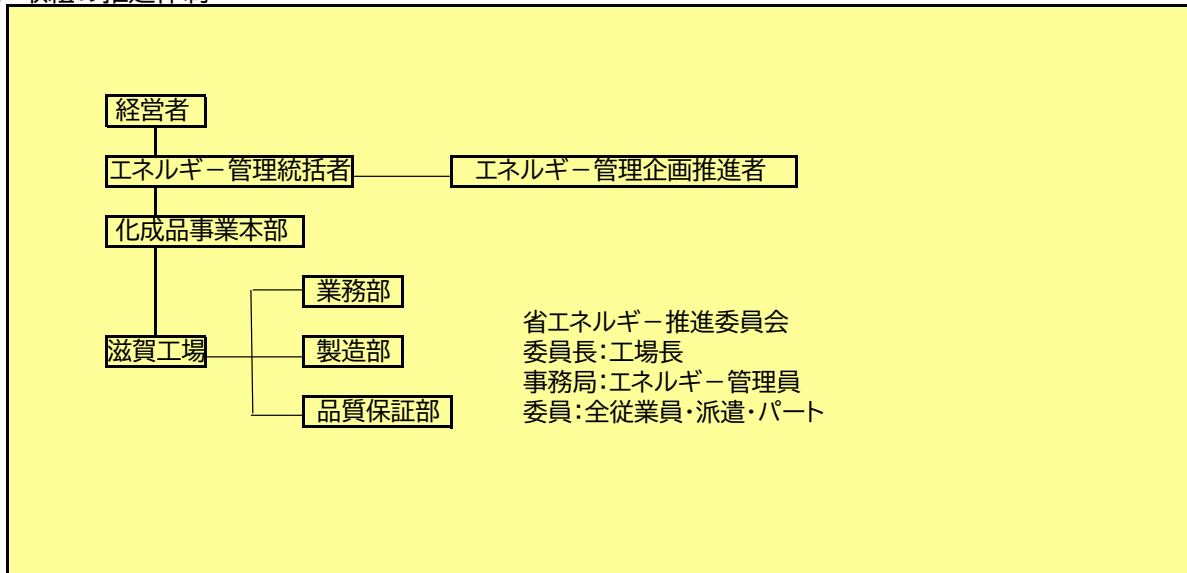
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

三光株式会社は、「事業を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、製造業として、原材料の調達から生産・販売・廃棄までの全ての段階において自然環境や地域社会への影響を十分に配慮します。

1. 地球環境の保全や環境に関する法令等を遵守し、省エネルギーや、省資源・環境負荷低減素材・製品の開発・販売、廃棄物の削減等の環境活動を推進する。
2. 地球温暖化防止のため、CO₂削減、省エネルギー対策を積極的に推進する。
3. 製品開発にあたっては、省資源、CO₂削減、非石油資源の利用を図った設計・素材開発を行い、次世代の製品を創出する。
4. リサイクルにあたっては、衛生安全性の厳守、経済性の確保を図り、循環型社会の形成に寄与する。
5. 廃棄物の削減と再資源化を推進して、適正な処理・処分を行う。
6. 当社製品の環境への関わりについて環境啓発活動を推進する。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 省エネルギー設備の導入(更新)について、計画的に積極的な取組を行っている。
1. エアコンプレッサの更新(高効率タイプ)により電力量の削減
 2. 事務用機器の不要時の電源切断及び省電力モードの利用により電力量の削減
 3. ボイラーの更新及びエネルギーの転換(A重油を都市ガス)
 4. 工場・事務所・品質保証部のLED蛍光灯の導入により減光・消灯を行い電力量の削減
 5. 倉庫内の照明設備の使用していない区画の消灯
 7. 現場事務所の屋根を遮熱塗料を塗り冷暖房費の削減

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	太陽光などの再生エネルギー発電設備の検討	2022年度～	
2	設備導入	人感センサーの検討	2022年度～	2022年 4月以降
3	設備導入	デマンド監視装置の検討及び設置	2022年度～	
4	運用改善	社内廃棄物の再資源化	2022年度～	2022年 4月以降
5	運用改善	冷暖房を適切な温度設定にし使用しない電灯を消す	2022年度～	2022年 6月以降

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取り組みにより、2021年を基準として、以下の数値目標の達成を目指す。</p> $\text{原単位} = \frac{\text{原油換算}}{\text{生産量}} \text{ で毎年1\%以上の削減}$	<p>2021年 0.838 基準年度</p> <p>2022年 0.885 +5.6</p> <p>2023年</p> <p>2024年</p> <p>2025年</p> <p>2026年</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	1,650	1,372				
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,184	2,484	0	0	0	0
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,184	2,484				
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
	CO ₂ 削減貢献量
	t-CO ₂

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	3,184	2,484				
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	3,158	2,494				
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.458	0.311				
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	自転車利用 の促進	工場に近い従業員は自転車通勤を推奨する	2022年度～	2022年 4月以降
2	通勤車両 の変更	電気自動車・ハイブリッド自動車に乗り換えを 推奨する	2022年度～	2022年 4月以降 1台
3	来場者の 交通対策	乗り合わせ・公共交通機関の利用を進める	2022年度～	2022年 4月以降

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
	保有車輛の数	台						
	上記のうち 次世代自動車の数	台						
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	グリーン購入	環境負荷の少ないものを選んで購入する	2022年度～	2022年 4月以降
2	マザーレイク ゴールズ(ML Gs)の取組	マザーレイク滋賀応援寄付型自動販売機の検討	2022年度～	
3				
4				
5				